

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松ホトニクス株式会社新員工場1棟	階数	地上4F
建設地	静岡県浜松市	構造	S造
用途地域	指定なし、法22条地域	平均居住人員	330 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2016年2月17日
敷地面積	7,380 m ²	作成者	株式会社 山下設計 蜂須賀健太
建築面積	2,780 m ²	確認日	2016年3月1日
延床面積	9,568 m ²	確認者	山下設計 原 博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	86%
③上記+②以外の	86%
④上記+	86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.8

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>これはCASBEE静岡(2014年版)による評価結果です。次の優先順位のもと、費用対効果の高い浜松ホトニクス新員工場1棟の実現をめざす。</p> <p>1 将来の発展(2期工事)までを踏まえた効率的な生産拠点</p> <p>2 生産ニーズの変化にいち早く対応可能な自由度の高い生産拠点</p>		0
<p>Q1 室内環境</p> <p>生産エリアの温湿度、清浄度要求に応じた的確な空調計画としている。</p> <p>室内温熱環境を維持しながら適切に汚染物質を除去している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>最先端の製造拠点としてふさわしい、工場としての機能面、安全面に配慮した内装計画としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>設備機器メンテナンスのための設備バルコニーは、近隣の住宅地をはじめとする周辺から見えないよう、敷地外周部を避けて配置している。また、敷地外周部には緑化を施し、近隣との緩衝帯としている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>トップライトを設置し、積極的に自然採光を行っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体材料にリサイクル材を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>十分な量の駐車・駐輪スペースを確保することで、交通負荷を抑制している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される